

授業科目名		担当講師名		対象学年
社会の理解		大津 敬・近藤 みどり		1年次
授業形態	単位 (時間)	教室等	学期	実務経験
講義	2 (60)	1年生教室	前期・後期	有 ・ 無
授業のキーワード	社会保障 介護保険制度			
授業の目標及び期待される学習効果	<p>従来、個人や家族間で行われてきた「支援」を、現在は「社会」が中心となって行っている理由を自分なりに整理し、その理由を理解する。その理由に対して、自分なりの意見を表明できるようになることが課題である。また、考えや意見はその時点での正解を求めるよりもディスカッションを通して新しい階段に考えて発展させることを課題とする。尊厳の保持と自立・自律した生活を支える必要性を理解する。</p>			
授業の概要	<p>個人の暮らしを理解するため、地域や社会の単位で人間を捉える視点を養い、人間の生活と社会の関わりや、自助から公助に至る過程について理解するための学習とする。</p> <p>生活と福祉では、個人の暮らしと生活のあり方を社会福祉との関連で捉え、その意義と理念を理解する。また、社会保障制度から介護保険制度など社会における様々な諸制度における歴史や変遷、見直しなどを総合的に理解する。</p> <p>第1章 <u>私たちの生活と社会福祉～生活の構造について</u> 第2章 <u>社会保障のしくみ～社会保障の基本的な考え方</u> 第3章 <u>介護保険制度のあり方～介護保険制度の背景及び</u> 第4章 <u>障害者の自立支援を担う法制度のあり方～障害者の自立とその支援制度</u> 第5章 <u>介護実践にかかわる諸制度～個人の権利を保護する諸制度</u></p>			
履修上の要件				
テキスト、教材、参考書				
使用機器等				
成績評価の方法	筆記試験			
備考				